障害者自立センターつっかいぼう
設立３０周年記念企画

講演会

障害者の自立って、何？

講師　熊谷晉一郎さん

30 年前岐阜市内の古い民家を借り毎週末に在宅・施設・病院に暮らす障害者が集まって合宿のように日々を過ごし様々な取り組みをしてきました。働く場所としてつながり亭（現・就労継続支援Ｂ型のビー・カンパニー）のオープン。介護派遣事業所つっかいぼうの開設。他にはキャンプやかるた取り大会などです。いずれも社会の一員として暮らすことを願ってであります。

30 周年を迎えることができたのも多くの方々のご支援とご協力があったからこそであります。心から御礼申し上げます。

ところが、そのような私達や私達の多くの仲間が全国各地で営む地域で共に生きようという取り組みを問うような事件がいくつも起きてしまいました。

神奈川県相模原市の障害者施設「やまゆり園」で多数の人たちが死傷した事件。また、大阪府寝屋川市や兵庫県三田市で 20 年以上十分な食事も与えられず半裸状態で軟禁されていたことが判明しました。また不良な子孫の発生を防止するとした優生保護法によって行われた強制不妊手術が大きく報道されています。これらは私たちが求める地域社会で人として生きることとは全く逆のものです。

障害者の存在が否定される社会とは何を意味するのでしょう。

障害者の自立とは社会にとって、また人と人の関係においてどんな意味があるのでしょう。

東京大学先端科学科の熊谷晉一郎さんをお迎えして自立について皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひ多くの方のご参加をお願いいたします。

日　時　７月１５日（日）１３:００～１６:００

会　場　じゅうろくプラザ　中会議室２

〒500-8856　岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11　TEL.058-262-0150（代）

参加費　無 料

主　催　特定非営利活動法人障害者自立センターつっかいぼう

連絡先　岐阜市早田東町 8 丁目 4-1　パセール長良 103 号

TEL.058-215-7374　FAX.058-296-5343　E-mail ; tsukkaibo@ip.mirai.ne.jp

講師；熊谷晉一郎氏プロフィール

1977 年山口県新南陽市生まれ。新生児仮死の後遺症で脳性麻痺となり、車椅子生活を送る。小・中学校と普通学校で統合教育を経験し、東京大学医学部を卒業。小児科医として病院勤務を経て 2015 年より東京大学先端科学技術研究センター准教授。障害者の立場で当事者研究を行っている。

著書「リハビリの夜」新潮ドキュメント賞

「つながりの作法　同じでもなく　違うでもなく」その他

タイムテーブル

13:30　開会、主催者あいさつ
13:40　熊谷さん　講演会（90 分）
15:10　休憩（10 分）
15:20　質疑応答（30 分）
15:50　主催者あいさつ
16:00　終了

参加申し込み書

氏　　名		所　　属	
住　　所		連　絡　先	